

# 建設工学実習

教 科	工業	単位数	4	学科・学年	建設工学科（建築類型）2年生
使用教科書	なし（準教科書使用）			副教材等	建築実習1・2（実教出版準教科書）

## ◇ 学習の到達目標 ◇

- ① 建築に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に身に付けます。  
 ② 技術革新に主体的に対応する能力と態度を身に付けます。

## ◇ 科目の特色 ◇

「建築実習」は10名程度の班で、実習実験を行い、作品や報告書を作成し提出します。事故防止や衛生管理に努めながら、建築に関する基礎的な技術と技能を体験的に学んでいきます。

## ◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4   6	1. CAD実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木造・RC造のCADの基本的な操作を学習する。</li> <li>・ 図面を作成する。</li> </ul>
7   10	2. 大工基礎実習 [インターンシップ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大工道具の使い方やメンテナンスの方法について学習する。</li> <li>・ 高大連携として国際たくみアカデミーにて実習を行う。</li> <li>・ インターンシップに参加する。</li> </ul>
11   3	3. 技能検定実習 4. 材料・計画実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築大工3級の技能検定実技試験の内容を学習する。</li> <li>・ 建築材料に関する実験を通して材料の特性を学習する。</li> <li>・ 地球環境と建築物との関わりを学習する。</li> </ul>

## ◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	建築実習に興味・関心を持ち、知識と技術の習得に意欲的に取り組み向上心をもって取り組めるか。
思考・判断・表現	建築実習に関する知識と技術を思考し、実際に活用するために適切な判断ができるか。
技能	建築実習に関する知識と技術を習得し、適切に活用する技能を具体的に表現できるか。
知識・理解	建築実習に関する知識と技術を理解し、実際的にまた総合的に身に付けているか。

このため具体的には、次のものを対象とします。

- ① 授業中における学習態度      ② 授業で活用するプリント      ③ 製作課題・レポート  
 ④ 課題への取り組み      ⑤ 自己評価

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、総合的に判断して決めます。

## ◇ 担当者からのメッセージ ◇

実習を通して、望ましい職業観・勤労観を身に付け、安全確認・安全作業に心がけて実験実習に参加しましょう。また、課題・レポートなどは期限を厳守して提出しましょう。